

# Console Status Retriever Tool V1.03

このアプリケーションは、USBメモリーステック内に置くことで、SurfaceとDSPエンジンの下記の情報を取り出すことができます。

(DSP Log Files、Master Controller Log Files、GUI Log Files、P4 motherboard start up information log、Mounted partition information)

## Instructions for use:

該当するコンソールのフォルダをUSBメモリーステック内の最上階層に作ってください。

システムの種類	フォルダ名
PRO1	DL1Upgrades
PRO2	DL2Upgrades
PRO3-6-9(b)	DL3Upgrades
XL8	XL8Upgrades

“ConsoleStatusRetriever\_V1\_03.tar ”アプリケーションをUSBに作成したフォルダにコピーしてください。その後そのUSBメモリーステックを以下のサーフェスのUSBスロットに挿入してください。

注意： Upgradesフォルダを作るUSBメモリーステックは、通常XL8/PRO6のShowファイルのバックアップを取る同じUSBで実行することをお勧めします。またLogファイルの取り出しに必要な空き容量(5M-10M)を確認してから行ってください。

PRO1	Surface上のUSB スロット
PRO2	Surface上のUSB スロット
PRO3-6-9	Surface画面の左側にあるMC1 または MC2 のUSBスロット
XL8	アームレスト左側のUSB slot 1 (左側)のUSBスロット(Bay-1用)

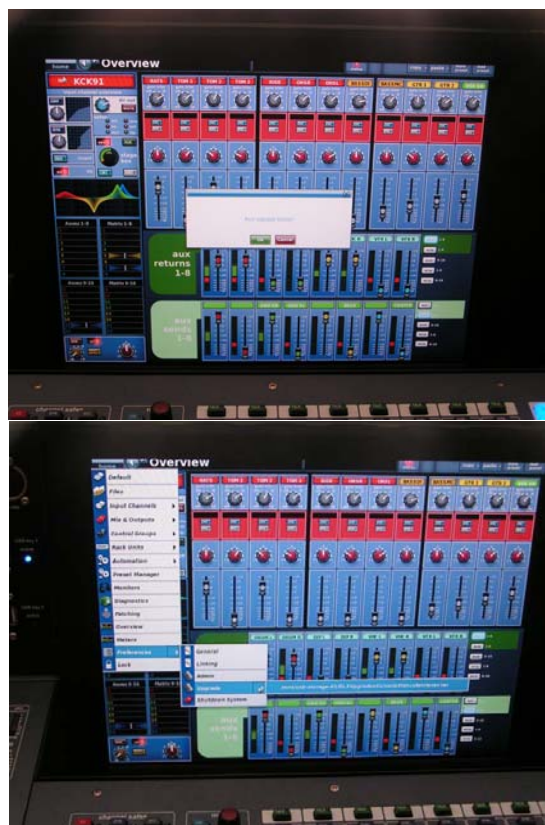
USBメモリーステックが挿入されたとき、ダイアログボックスがアップグレード・ユーティリティを起動させるかどうか尋ねる警告を画面に表示されます。“Cancel”をクリックしてください。

注意： もしUSBメモリーステック内に作ったフォルダにこのToolアプリケーション以外がなければ、警告画面で"OK"をクリックすることでこのアプリケーションを直接起動させることができますが、作ったフォルダ内にアップデートのアプリケーションが存在するならば必ず”CANCEL”をクリックしてください。

メニューボタン(home)をクリックして、スクロールしてPreferenceタブを選択して、そのままサブメニューに進んでください。そしてUpgradeへ進んでください。全ての“.tar”ファイルが現れます。

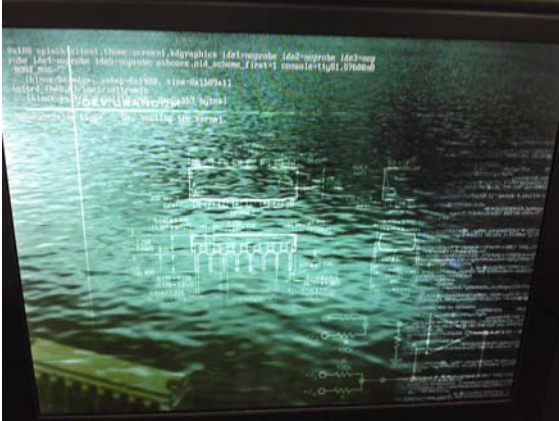
USBメモリーステック内に作ったフォルダにコピーした“ConsoleStatusRetriever\_\_V1\_03.tar ”を選択してください。

(注意：USBメモリーステック内にアップグレード.tarファイルがあるならば、同じ方法で起動することで、システムをアップグレードするためのアプリケーションが起動します。)



GUIの操作は出来なくなります。そして、プロンプトが画面に表れます。すべてのありうる接続(これらのいくつかは、システム上に存在しないかもしれません)を確認しながらToolアプリケーションは全てのログを取り込みます。

完了するとGUIは下記の画面を表示します。(起動画面、又はLinux画面)



PRO3-6-9



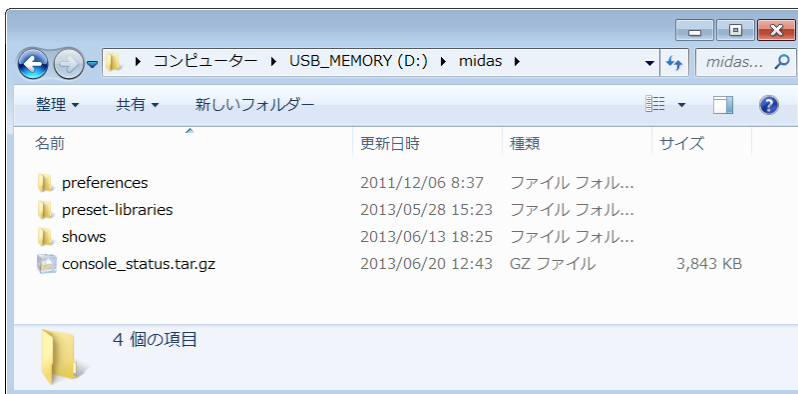
XL8

**注意: Log抽出後は、必ず再起動を行ってください。**

※(PRO1-2-2Cは起動画面を表示します。)

**取り出されたLogデータは、USBメモリーステック内のMidasフォルダ内に圧縮された状態で保存されます。**

midas / console\_status.tar.gz



をメールで送ってください。(約2-4Mです。)

**注意:**

- ログは、数日前の分も抽出されますが、当日のログは再起動後でなければ抽出できません。必ず再起動後、抽出をしてください。
- **ログ抽出後、正常な動作を行うために必ず再起動してください。**